

『足立区育英資金奨学生採用申請書』記載上の注意事項

1 希望する区分に○をつける欄

希望する番号に丁寧に○をつけてください。

2 本人の欄

- ① 氏名にはフリガナをつけてください。
- ② 学校名については、国立・公立・私立の該当項目に○をして、在学学校名又は卒業校名を記入してください。
- ③ 電話番号は必ず記入してください。日中に連絡がつく電話番号を記入してください。

3 志望学校の欄

- ① 入学志望学校は、国立・公立・私立の該当項目に○をして学校名を記入してください。
- ② 具体的に志望学校が決まっていなくても、必ず現在の志望学校を記入してください。 ※採用決定後の変更は可能です。

4 家族状況の欄

- ① 本人氏名も含めて記入してください。
- ② 年齢については平成30年10月1日現在で記入してください。
- ③ 続柄は本人からみた場合を記入してください。
- ④ 職業についてはくわしく記入してください。

学生の場合は在学学校名、学年を記入してください。

例 銀行員、ガラス加工業、〇〇高校3年、〇〇大学4年

5 貸付を希望する理由の欄

採用決定する為の重要な資料になりますので、申請者本人ができるだけくわしく、将来の夢や進学したいという強い気持ちを記入してください。目安としては半分以上記入してください。本人以外が記入した場合は、受付できません。

6 他の奨学金制度の申請状況の欄

現在、足立区育英資金奨学金以外の奨学金制度を申請されている方や、すでに来年度からの貸付が決定している方は「はい」に○を付けその奨学金制度名を記入してください。

7 その他

必ず、黒か青色のボールペン、または、万年筆を使用してください。鉛筆等のみで記入していた場合、申請を受け付けませんのでご了承ください。

申請年月日及び氏名を記入のうえ、必ず押印（スタンプ印は不可）してください。本人と保護者は、別の印鑑を使用してください。

『足立区育英資金奨学金貸付 推薦調書』記載上の注意事項

1 作成者

推薦調書は、平成30年10月1日現在の在学校の学校長が作成してください。

平成30年10月1日現在在学していない者（高校卒業等）については最終学校の学校長としてください。

2 応募資格

(1) (全応募枠共通) 平成30年10月1日時点で、足立区に引き続き6か月以上居住していること。

(2) 学業成績が平均点数より上位にあること。

※【通常枠・一部償還免除枠】全教科が5段階評価方式で平均3.1以上または全て3.0が選考対象。（一部償還免除枠は4.0以上が選考対象）

※【特例枠・一部償還免除特例枠】通常枠、一部償還免除枠の成績要件を満たしていない場合でもスポーツなどの特定の分野において、秀でた実績がある場合は、学校長特別推薦として申し込むことができる枠となっております。

※5段階評価方式によらない場合は、次の表で換算して算出。

成績換算表

成 績	100点	10点	優良可制	ABC制
5	100～81	10～9	秀	A
4	80～61	8～7	優	B
3	60～41	6～5	良	C
2	40～21	4～3	可	D
1	20～0	2～0	不可	E

(3) 世帯の合計所得が「所得基準額表」により算出した所得基準額未満であること。

※所得基準を超える方でも特別の事情がある場合は、理由・資料等を添えて推薦してください。

(4) 貸付の際に連帯保証人（2名）を立てられること。

3 人物についての欄

評価項目ごとに判定のポイントがありますので、それにしただがって適当な数字に○をつけてください。別紙推薦基準を参照ください。

4 学業成績欄

何学年・何学期のものかを明記し、成績を記入してください。

5 推薦総合所見欄

推薦する生徒の所見を記入してください。詳細は記載例をご覧ください。

6 注意事項

(1) 成績について各学校所定の用紙を添付してもかまいませんが、その他の事項は全て教育委員会所定の用紙に記入してください。

(2) 各欄に所定の事項が記入されていない者については、判定資格を欠くものとして不採用になることがあるので注意してください。

(3) 推薦調書作成後は、所定位置に必ず公印を押印してください。

生徒氏名	足立 見本太郎	学校名※	足立区立〇〇中学校 都立〇〇高校	学年	第3学年
------	---------	------	---------------------	----	------

※学校名は在学学校

学校のわかる範囲で記入してください。貸付制度だけでなく、給付制度を申請している場合も記入してください。

1 他の奨学金への申請状況

奨学金制度名を記入：〇〇奨学金、××給付金

2 人物について

NO	評価項目	判定のポイント	評価(○を記入)				
			5	4	3	2	1
1	人物及び将来の目標	学習活動その他生活の全般を通じて態度・行動が学資金の支援をする学生としてふさわしく、進学目的及び進学後の人生設計が明確であり、将来良識ある社会人として活動し、社会に貢献する人物となる見込みがあること。	5	4	3	2	1
2	学力及び資質	学校の教育目標に照らして十分に満足できる高い学習成績を修めていること。または教科以外の学校活動等で大変優れた成果を修め、学校の教育目標に照らして概ね満足できる学習成績を修めていること。	5	4	3	2	1
3	学習意欲	勉学の意志を持って通学しており欠席、遅刻等の問題もなく、学習意欲を持って授業に臨んでいること。	5	4	3	2	1
4	健康状態	健康診断等により、修学に耐え得ると認められること。	5	4	3	2	1

3 特別に推薦する活動成果【学校長特別推薦のみ】(※実績や日頃の取組姿勢から評価)

NO	評価項目	活動区分		主な実績等	評価(○を記入)					
					5	4	3	2	1	
1	学習、部活動、専門分野その他特筆すべき活動成果	<input type="checkbox"/>	学 習							
2	(右的にさい還免合、特に優秀な成績を修めたものとし(す)	<input type="checkbox"/>	学校*学校活動							
3					5	4	3	2	1	
4										
5										

こちらの項目は学校長特別推薦のみ記入する事項ですので、通常枠の場合は記入する必要はありません。

通常枠は、5段階評価平均で3.1以上または全科目3.0の方が対象となります。
また、一部償還免除枠は、5段階評価平均で4.0以上の方が対象となります。

4 学業成績

(直近成績：第 学年・ 期) *在校生は直近、卒業生は卒業時の成績を記入

科目	現代文	古文	漢文	数学 I	数学 II	世界史	地学	倫理	英語	体育	保健					合計	平均点
成績	3	3	4	4	3	4	4	5	4	4	4					42 点	3.8 点

5 推薦総合所見（できるだけ具体的に記入してください）

*本特別推薦に値する本人の頑張り、意欲やその他の評価について、上記の評価を含めた総合的な所見を具体的に記入してください。

学習面においては、熱心に学習に取り組む姿が見える。その成果が日ごとに現れてきている。学校生活面では、責任感を持って行動することができる人物である。周囲の生徒からの信頼が厚く、**通常枠（一部償還免除枠）として推薦するにふさわしい。**本人は進学意欲があるが、経済的理由により進学が難しい。

以上の状況により、足立区育英資金の奨学生にふさわしい人物である。

足立区長

上記の生徒を、足立区育英資金奨学生として推薦いたします。

平成 年 月 日

在学学校名

学校

学校長名

公
印

※奨学金貸付の特例枠推薦の場合は、貸付枠に定員があり、審査結果によっては借りられない場合があります。生徒・保護者にその旨をご案内し、ご了解を得たうえで、申請をお願いします。

足立区育英資金 成績換算表 一覧 (参考)

別表第1 (第2条関係)

成績換算表 (5段階評価による換算)

換算成績	100点制	10点制	優良可制	A B C制
5	100～81	10～9	秀	A
4	80～61	8～7	優	B
3	60～41	6～5	良	C
2	40～21	4～3	可	D
1	20～0	2～0	不可	E

別表第1の2 (第2条関係)

成績換算表 (4段階評価による換算)

5	A
3.65	B
2.35	C
1	D

別表第1の3 (第2条関係)

成績換算表 (6段階評価による換算)

5	A
4.2	B
3.4	C
2.6	D
1.8	E
1	F

足立区育英資金 所得基準額計算書

記入例

	家族氏名	年齢	第Ⅰ表	教育費	所得金額
1	足立 父	47	687,240		3,000,000
2	足立 母	43	687,240		2,100,000
3	足立 兄	17	757,440	234,000	
4	足立 本人	14	757,440	235,515	
5					
6					
7					
8					
9					
10					
計			A 2,889,360	イ 469,515	オ 5,100,000

	世帯人数	通減率 (ていげんりつ)	第Ⅰ表基準額
第Ⅰ表	～3人	A () × 1.0	ア
	4人	A (2,889,360) × 0.95	ア 2,744,892
	5人～	A () × 0.90	ア

※端数処理 通減率を乗じた額の小数点以下を切り捨て後、1円単位を切り上げる。

第Ⅱ表	世帯員	4人	ウ	2,374,935
-----	-----	----	---	-----------

基準額(ア+イ+ウ)	エ 5,589,342	>	所得金額	オ 5,100,000
------------	-------------	---	------	-------------

エ>オのため申し込み可能

注意事項

- ① 記入にあたっては、別紙所得基準額表・所得基準算出例参照のこと。
- ② 所得金額の欄に下記のいずれかを記入する。
 - ア 平成30年度住民税(普通徴収)納税通知書の総所得金額等の金額
 - イ 平成30年度住民税特別徴収税通知書の総所得金額①の金額
 - ウ 平成30年度住民税課税証明書の総所得金額等の金額
- ③ この基準額の計算は、平成30年10月1日現在の状況で計算すること。
- ④ **エ**の額と**オ**の額を比較し、**オ**の額が**エ**の額未満であれば、申し込みの資格があります。ただし、前年と著しい状況の変化(収入の主たる者の死亡等)があった場合は、**オ**の額が**エ**の額を超えても、申し込みができます。

エ>オ → 申し込みできる

エ<オ → 申し込みできない

足立区育英資金 所得基準額表

$$\text{基準額} = \text{第Ⅰ表} + \text{第Ⅱ表} + \text{教育費}$$

第Ⅰ表

年令は、平成30年10月1日現在

年令	男女共通
0才	376,200円
1～2才	376,200円
3～5才	474,300円
6～8才	613,260円
9～11才	613,260円
12～14才	757,440円
15～17才	757,440円
18～19才	757,440円
20～40才	724,860円
41～59才	687,240円
60～69才	649,800円
70才～	582,120円

逓減率 4名の場合は、 0.95

5名以上の場合は、0.90

*端数処理 逓減率を乗じた額の小数点以下を切り捨て後、1円単位を切り上げ

第Ⅱ表

世帯員数は平成30年10月1日現在

世帯員	年額
1	2,082,585円
2	2,194,200円
3	2,315,205円
4	2,374,935円
5	2,405,625円
6	2,436,315円
7	2,719,005円
1増毎	30,690円

教育費

学年は、平成30年10月1日現在

学校	学年	金額	学校	学年	金額
小学校	1	147,315円	中学校	1	237,660円
	2	148,965円		2	237,660円
	3	153,915円		3	235,515円
	4	153,915円	高校・高専	234,000円	
	5	157,545円	短期大学・大学	630,000円	
	6	157,545円			

注意事項

- ① この表は、平成30年度に募集する奨学生所得基準額表である。
- ② この所得基準額表で算出した金額は、平成29年中の所得に対する基準額である。